

2017年10月

日本中国考古学会会員各位

日本中国考古学会 2017年度大会のご案内

清秋の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日本中国考古学会 2017年度大会・総会を下記の要領にて開催いたしますので、お知らせ申し上げます。大会では、一般研究発表とシンポジウムを行います。シンポジウムはテーマを「史料と資料の相克」とし、中国考古学における諸問題について、考古学と文献史学の両面から検討を行うことを通じて、双方の研究方法の特質を明らかにするとともに、その差異を乗り越えて新たな視点を提示することを目的として討論を行っていきます。

開催日

2017年12月2日（土）・3日（日）

会場

東京大学 本郷キャンパス 法文2号館一番大教室
東京都文京区本郷7-3-1

交通

東京メトロ丸ノ内線 本郷三丁目駅（M20）より徒歩10分

都営地下鉄大江戸線 本郷三丁目駅（E08）より徒歩8分

東京メトロ南北線 東大前駅（N12）より徒歩6分

JR上野駅より都営バス（学01）にて「東大構内」バス停下車

※詳細は東京大学ホームページ（http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html）

をご覧ください。

参加費

大会資料費 1,000円

懇親会

日時： 12月2日（土） 18:30～20:30

会場： ルヴェソンヴェール本郷 東京都文京区本郷6-16-4 フォーレスト本郷1F

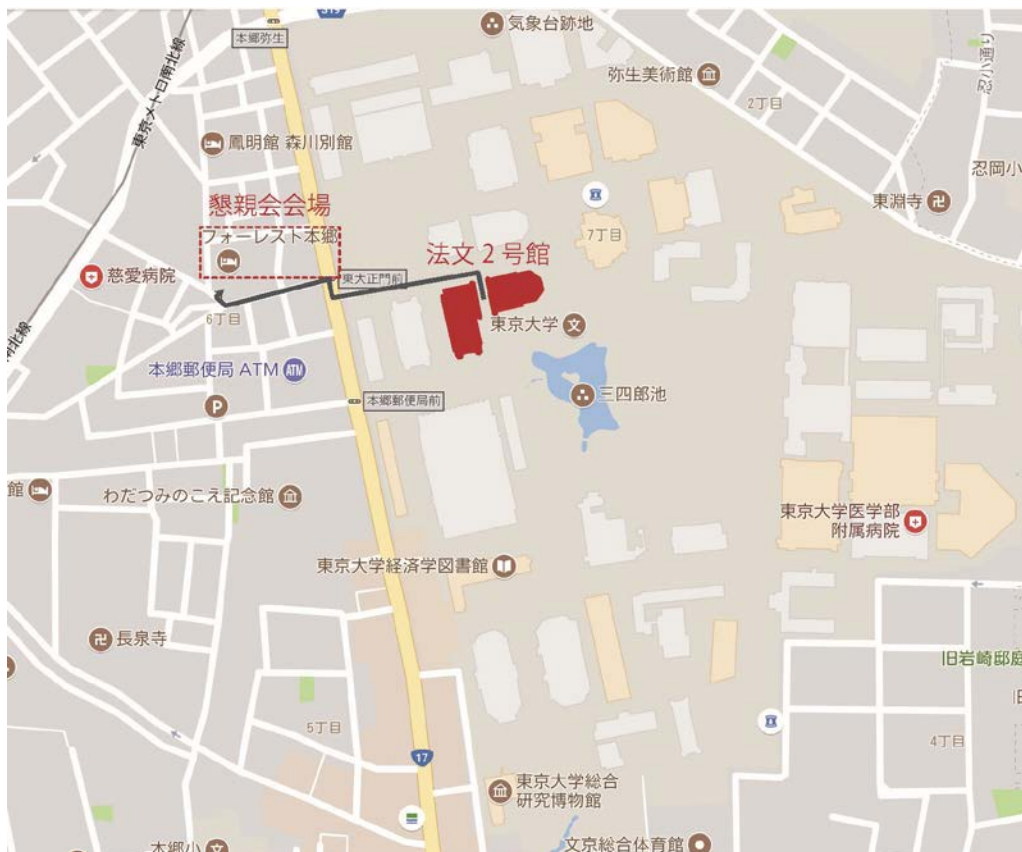
会費： 一般6,000円、 学生4,000円

※人数確認の必要がありますので、懇親会にご出席の方は **11月18日（土）** までに大会事務局

ishikawa@^{TEL}l.u-tokyo.ac.jp（石川） までご連絡ください。

日本中国考古学会 2017 年度大会 シンポジウム「史料と資料の相克」

中国考古学における諸問題を考える上で、考古資料と文献史料の双方をいかにして対話させるかという問題は、避けて通れないものである。文献史料は、それらが編まれた時代の情報のみならず、それ以前の時代の歴史や文化、制度についても雄弁に物語ることもある。それに対し考古資料は、自らは何も語らない性質でありながら、考古学者の問いかけ次第では様々な情報を引き出すことのできる側面を見せる。これら双方の史料／資料から導かれる解釈は、時に調和的であり、時に鋭く対立するものともなり得る。本シンポジウムではこのような文献史料／考古資料の関係性を踏まえた上で、あえて考古学的観点に立脚した分析を行った場合に、文献的解釈とはどのような異なる結論を出すことができるのか、逆に文献研究的観点に立った際に、考古学的解釈にどのような問題点を見出すことができるのか、双方の立場から検討することで互いの方法論の特質を明らかにするとともに、その差異を乗り越えて新たな観点を提示することを目的とし、設定されたテーマごとに考古学・文献史学それぞれの専門家による発表、それに対するコメントという形で討論を行っていく。



日本中国考古学会 2017 年度大会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 法文 2 号館 3 階

東京大学大学院人文社会系研究科・文学部考古学研究室

電話 03-5841-3793 (担当者在室時のみ対応可能)

電子メール ishikawa@1.u-tokyo.ac.jp

担当 石川 岳彦・山本 堯